

## 退院時転帰非自立となる中大脳動脈分枝閉塞症患者の臨床的特徴に関する研究

### 1. 研究の対象

2012年8月～2018年3月までに脳梗塞の診断で入院された方のうち、脳梗塞発症前の生活が自立しており、頭部MRI検査にて中大脳動脈分枝閉塞が確認された方。

### 2. 研究目的・方法

主幹脳動脈狭窄を有する脳梗塞に対する血管内治療の有効性が証明されましたが、中大脳動脈分枝閉塞症に対する有効性は示されていません。血管内治療の有益性を高めるためには適切な患者選択が重要となります。急性期病院退院時非自立となる中大脳動脈分枝閉塞患者の臨床的特徴をあきらかにすることで、入院の時点で悪くなる可能性の高い中大脳動脈分枝閉塞患者を見つけ出し、血管内治療を行うかの判断を適切に行うことができるようになる可能性があります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、神経学的異常所見、頭部MRI所見、血液検査（血糖、ヘモグロビンA1c、コレステロール等）、退院時転帰（mRS）など。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本市南区近見5-3-1 電話番号 096-351-8000

担当者 神経内科 永沼 雅基（研究責任者）

研究責任者：済生会熊本病院 神経内科 永沼雅基

以上